



〒520-0041 滋賀県大津市浜町1-38 滋賀銀行従業員組合 TEL 077-521-2775 FAX 077-525-5232 Mail info@sbu-ffs.com URL http://sbu-ffs.com/

働くもののいのちと健康を守る 学習交流集会

8月5日、京都市において、近畿ブロック「働くもののいのちと健康を守る学習交流集会」が開催され、62名が参加され、従業員組合から中島委員長が参加しました。なお、この集会は、第1回の京都から、各府県を回り、6回目の開催となります。

生き生きと働ける 職場にしよう

集会は、全労連近畿ブロックと働くもののいのちと健康を守る地方センター近畿ブロックの主催により、開催されており、集会で学んだことを、職場で生かし、働く人たちのいのちと健康が守られ、生き生きと働けるようにしていこうと呼びかけられてきました。

軸と、いのちと健康を守る課題」と題する宮木さんの講演では、「働き方改革」を巡る政治情勢などから安倍政権が目論む労働法制改悪まで多岐に亘り話を聞くことができました。

その中で、3月に決定された「働き方改革実行計画」が、労働者にどんな影響をもたらすのかを具体的に話していたいただきました。働くもののいのちを守る視点でのたたかいを職場や地域から、労働者にどんな影響をもたらすのかを具体的に話していたいただきました。働くもののいのちを守る視点でのたたかいを職場や地域か



安倍政権が目論む 労働法制改悪

『働き方改革』への対抗

△△突出しています。全国知事会は2002年に国や日本体育協会に対し、開催県の負担軽減を求める決議を行いました。その後には既存施設の活用や簡素化により「金くい国体」が「節約国体」へ流れが大きく変

先日、2024年開催予定の滋賀国体の問題を聞く機会がありました。国民体育大会（国体）は各都道府県の持ち回りで開催で、開催地の体育施設が良くなつてありがたいものだと思っていました。それがとんでもない間違いであったことを知りました。滋賀国体に向けて競技施設の新設などに600億円もの費用がかかり、それを県財政で負担すると聞いて驚きました。

県民負担となる巨額な国体 施設整備費の削減を求めます

主会場となる彦根陸上競技場は、既存のテニスコート、体育館やプールなどを解体して、メインとサブの二つの陸上競技場が新設される費用が200億円必要と言われています。現在の県立体育館を瀬田地域の山

◇その願いを実現するため、私も「県民負担となる巨額な国体施設整備費の削減を求める署名」に取り組んでいます。この署名は、滋賀県知事に対し「1. 国体開催基準要項や全国知事会の緊急決議（平成14年）

数十年前に一度の国体のために、貴重な税金をムダに費やすのではなく、社会保障や子育て支援の拡充・教育施策の充実などに優先的に使うことが、滋賀県民の願いだと思います。◇

第63回日本母親大会・岩手 憲法必ず次世代に継ぐ

第63回日本母親大会が19日、岩手県盛岡市を中心に開催され5200人（19日）が集い、寺田、田中、坂下、植木さんら4人の先輩組合委員が参加しました。今回の大会には、2日間でのべ1万7000人が参加しました。



初日は、特別企画の「東日本大震災の被災地訪問」と25の分科会が、岩手大学、盛岡マリオス、盛岡アイーナなどを会場に開催され「子どもと教育」暮らし、権利、労働「平和と民主主義」「女性の地位向上をめざして」などをテーマに話し合われました。

第2日は盛岡タカヤアリーナで全体会が開催され、開催地の知事と市長が来賓として登壇されました。主催者あいさつした日本

各府県から「たまた現場の報告」

午後3時から各府県活動報告が行われました。報告は、まさに働く人々のいのちと健康を守る闘いの生々しい報告でした。紙面の関係でテーマと発言者のみの紹介としました。

滋賀「長時間労働なくせから人員増へ」清水庄次（滋賀県職員労働組合） 京都「製造現場の労働安全衛生活動」山中康司（JMITU京滋地本カシフジ支部） 奈良「いのちの健康センターの取り組み」谷山義博（いのちの健康センター） 大阪「全労連大阪支部の労働安全衛生活動の取り組み」金田智恵子（全労連大阪支部）



兵庫「パワーハラスメントのアンケート結果の報告」堀田圭佑（兵庫民医労） 和歌山「うつ病で休職している労働者への『懲戒免職』処分撤回の取り組み」琴浦龍彦（和歌山県地評）

核兵器廃絶、戦争法廃止、原発ゼロ社会を 各地で頑張る仲間からのレポート

250回目のキンカン行動 原発のない日本に！

8月4日、250回目の「キンカン」行動が行われ、坂下さん、田中さん、植木さんなど先輩組合員が参加しました。小さくて見にくいのですが頑張る姿が下段写真に写っています。

「原発ゼロ」「再稼働反対」を訴えて滋賀でも2012年7月から毎週金（キン）曜日に関（カン）電前で「キンカン」行動が始まりました。以来、雨の日も雪の日も続けられ、8月4日で250回目を迎え「キンカン250回記念パレード」が行われました。

出発地点の膳所駅前には、様々な手書きのプラカードやのぼりを手にした市民らが出発した。原発ゼロの日本を」と呼びかけ、「ふじみ九条の会」の馬場勝さんが「琵琶湖を守ろう。福島を還せ」と訴える創作詩吟を披露されました。



この国を戦争しない国に 平和のための戦争展in湖東

8月4日、量販店の情報プラザで行われている「平和のための戦争展in湖東」を見に行った。初日の、しかも開始直後で来客もまばらでゆっくり拝見できた。

数日前に、同年の友人から「私の父親の遺品を出展します。時間があれば見に行ってください。」とのメールを貰っていたこともあり早々の参加となった。彼の戦死した父親のために寄せられた千人針、日の丸に「祈武運長久」の濃い文字と彼の父親の名前。そ

二度と戦争を してはならない

会場の一角にビデオの放映コーナーがあった。滋賀県平和記念館が作成した、4人の戦争証言集であった。

原爆犠牲者慰霊・世界平和祈願法要

8月6日、滋賀県大津市園城寺町の三井寺で、原爆犠牲者慰霊・世界平和祈願法要が営まれ、住民や僧侶ら約100人が参列しました。



広島に原爆投下された時刻の8時15分に黙とうをささげ、読経が唱えられました。すでに暑さを増す中、参加した大勢の市民の手で「世界平和と核兵器廃絶を」と訴える短冊をつけた風船1500個が空に放たれました。

高浜原発の再稼働には同意出来ません！ 原発のない社会へ 私たちは何が出来るか

8・6県民集会

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民の会が6日、「高浜原発の再稼働に同意できません！8・6滋賀県民集会」を米原公民館で開催、各地から165人が参加しました。

聞き覚えのある地名や施設の被災の様子が昨日のように語られ、私を含め3人の視聴者は無言で見た。証言者は皆「二度と戦争をしてはならない」と結ばれた。



8月6日の朝、広島市の平和式典の鐘に合わせて夫婦で黙祷をした。二人の父親は戦死している。これからも戦争をしない国であり続けることを願う、そのためにできる限りのことをしたい。（谷）



す人々には、なお、平和への希求は強いだろう。先月7日には国連で「核兵器禁止条約」が採択された。しかし、この国の政権は、秘密保護法、戦争法、共謀罪を強引に通し、憲法9条改変も日程に載せている。

来がないのは明らかで少なくとも次の事故が起こる前に何とか『引導』を渡したい」と語り、市民の会がの運動に期待を表明しました。



核兵器禁止条約に触れ「最初の被爆国である日本がなぜそれに署名しないのか私は悲しい。原爆のない平和な国を作っていきたい」と語られました。岡部善恵庵主が「戦争ほど悲しきものを作り出すものはない」と訴えられました。